

2024年
(令和6年)

3月12日

(第三種郵便物認可)
昭和23年4月15日
毎月3回発行
(第1、第2、第3火曜日)

今号の特集

- ▷ふりかけ・お茶漬特集 ⑧～⑨面
- ▷乾物特集 ⑩～⑪面
- ▷だしの素特集 ⑫面

中部飲食料新聞社ホームページ

http://chuin.net/ (業界情報発信中)



味の素®は、うま味調味料です。さとうきびの糖蜜を発酵させてつくっています。

第3501号

発行所
中部飲食料新聞社

名古屋市中村区名駅5-18-9
電話 (052)571-7116 代表
FAX (052)571-7118

東京局

東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電話 (03)5614-7531
FAX (03)5614-7532

中部 大正から 食を伝えて100有余年 飲食料新聞

ファミリーマート コカ・コーラBJ

神奈川物流協業開始

コカ社トラックを有効活用

ファミリーマートとコカ・コーラボトラーズは、神奈川県海老名市・厚木市を中心としたエリアでの配送として、コカ・コーラボトラーズジャパンの店舗配送トラックの共同活用スキームを構築。2月上旬から物流面で協業を開始した。

両社は23年2月以降、双方の資源を有効活用するなどの連携・協力事業を積極的に推進。今回は物流2024年問題への対応も想定し、これまで深めてきた連携・協力関係を物流面にも拡大する。ファミリーマートはペトボトルや菓子、加工食品などの商品を、各地域の配送センターから週6回店舗に配送。しかし、イベントや天候、大型商品の発注の影響などから配送できない商品量が不

日清オイリオG 新広告にドラえもん起用

日清オイリオグループは日本初のサラダ油「日清サラダ油」発売100周年となる記念すべき今年、これからの植物のチカラで食の未来に貢献する一歩を踏み出している。今回のスキームは、コカ・コーラボトラーズジャパンの店舗配送トラックを自社の物流拠点から管轄の各取引先小売店舗に配送する際、物流パートナー社の店舗配送トラックを使用している。しかし、夏場の最需期以外には、日によって稼働率がバラつきが出ることや時間帯により納品が無くなり稼働していない時間が発生するなどの課題が生じている。

今回のスキームは、コカ・コーラボトラーズジャパンの店舗配送トラックが時間帯など稼働していない時にファミリーマートの店舗へ常温商品を配送できない商品量が不

国分グループ 24年食品トレンド大胆予測

国分グループは、オリジナル冊子や展示会で食品業界トレンドを予測している。国分グループ本社と総合印刷企業TOPPANが協業し、食品市場を予測した冊子「TKBridge 2024」を発売。dige2024を発売。



「TKBridge 2024」の表紙。当り前の分岐と変化 NEW OUR STANDARD & MY STANDARD

同冊子は両社の知見を掛け合わせる事で生活者の嗜好やライフスタイルを見える化し、これからの

配送するもの。ドライブの安定確保、新規配送車の削減、配送効率を上げる。ファミリーマートで店舗からの発注データに定稼働することを目指す。配送手配の流れとして、ファミリーマートで店舗からの発注データに

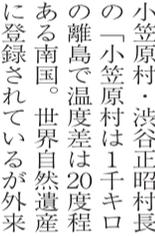
日清オイリオはこれからも。

日清オイリオグループは日本初のサラダ油「日清サラダ油」発売100周年となる記念すべき今年、これからの植物のチカラで食の未来に貢献する一歩を踏み出している。今回のスキームは、コカ・コーラボトラーズジャパンの店舗配送トラックを自社の物流拠点から管轄の各取引先小売店舗に配送する際、物流パートナー社の店舗配送トラックを使用している。しかし、夏場の最需期以外には、日によって稼働率がバラつきが出ることや時間帯により納品が無くなり稼働していない時間が発生するなどの課題が生じている。

今回のスキームは、コカ・コーラボトラーズジャパンの店舗配送トラックが時間帯など稼働していない時にファミリーマートの店舗へ常温商品を配送できない商品量が不

八手食品 るるぶコラボシリーズ新製品

ハチ食品は旅行雑誌るるぶ×HACHIコラボシリーズ第5弾「小笠原南国フルーツチキンカレー」新製品発表会を2月22日、都内で行った。発表会は高橋慎一社長の挨拶に始まり、東京都小笠原村・渋谷正昭村長の「小笠原村は1千キロの離島で温度差は20度程ある南国。世界自然遺産に登録されているが外来種の被害に悩まされ日夜、駆除と自然保護を行っている。小笠原南国フルーツチキンカレー」



発表会に高橋慎一社長と小笠原村・渋谷正昭村長が出席。左から高橋社長、正昭村長、慎一社長。

「小笠原村は1千キロの離島で温度差は20度程ある南国。世界自然遺産に登録されているが外来種の被害に悩まされ日夜、駆除と自然保護を行っている。小笠原南国フルーツチキンカレー」

「送料無料」の裏に

日本通信販売協会が長年口を酸っぱくして言い続けているのが「送料無料」という表現の問題だ。自社の経営努力で負担している企業もあると思われるが、同協会によれば取引業者の負担になる事例も少なくないという。要は「誰が損を被るか」だ。

食知る辺

この問題は根深く、いよいよ来月に迫った2024年問題にも関連し、違反企業の社名が公表される下請法、優越的地位の職権濫用にも係る事案もある。約30年にも渡るデフレ状況の下、消費者はデイスカウトに慣れ、「恩恵」に浴びてきた。その裏には事業者の犠牲の上に成り立ってきた部分も大きい。プラッタ企業の公表や価格改定が以前ほど絶対悪・パッシングされることなく、「フェアトレード」という概念が浸透し始めてきた。調達側、消費者のモラルが試されている。

「小笠原村は1千キロの離島で温度差は20度程ある南国。世界自然遺産に登録されているが外来種の被害に悩まされ日夜、駆除と自然保護を行っている。小笠原南国フルーツチキンカレー」

「小笠原村は1千キロの離島で温度差は20度程ある南国。世界自然遺産に登録されているが外来種の被害に悩まされ日夜、駆除と自然保護を行っている。小笠原南国フルーツチキンカレー」



利久胡麻

食の楽しみを広げる調味ごま

素材の味を引き立てる、辛みと香り、旨味と食感をお楽しみください



